

# 永山小「確かな学力」育成プラン

令和6年2月～令和7年3月

旭川市立永山小学校

自ら学ぶ態度・学習習慣を身に付けさせるために

- ① 児童の思い・願いを取り入れる授業評価の工夫
- ② 家庭と学校が連携し、自ら進んで学習に取り組む環境づくり、学習習慣の定着
- ③ 「子ども育成プラン」に基づく家庭と学校との共同歩調
- ④ 図書資料の充実、情報・メディアを活用する学び方の実践
- ⑤ 体験的活動の充実(ボランティア)
- ⑥ チャレンジテストの活用

知識・技能の確実な定着のために

- ① 学力の基盤となる言語活動の充実、言語環境の整備
- ② 学習規律、話し方・聞き方などの学び方の定着
- ③ ICTを活用した個別最適な学習の充実
- ④ 複数の教員・講師による指導
- ⑤ 効果的な放課後学習の実施による、基礎的・基本的事項の定着

## 育てたい力

○ **学習意欲** 主体的に学習に取り組もうとする態度

○ **思考力・判断力** 学んだことを活用しつつ、論理的に考察し、**表現力** 分の考えを適切かつ豊かに表現する力

○ **知識・技能** 読み書きや四則計算などが確実にできる力

知識・技能を活用する力を育成するために

- ① 問題解決的な学習の重視
- ② 自分の思いや考えをもち、豊かに表現し、目的や意図に応じて筋道を立てて考える授業の推進
- ③ 身に付けた言語力を発揮する場面の設定  
(聞く側を意識した発表の工夫の充実)
- ④ 地域の「人・もの・自然」と触れ合う体験的な学習の充実及び身に付けた知識・技能を活用する場の設定

指導力の向上を図る研修

- ① 思考力・判断力を高め、豊かに表現する力の醸成・育成
- ② 研究部及びブロックを中心とした校内研究会の実施
- ③ 研修の充実(学習指導要領による、主体的・対話的で深い学びの実践の蓄積と交流)

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果(6年)

## 本校児童の実態

令和5年度教研式学力調査の結果(5年)

国	「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる」や「日常よく使われる敬語を理解している」において、課題が見られた。	
算	「百分率で表された割合について理解している」や「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる」において課題が見られた。	
質問紙	高い傾向を示したもの	低い傾向を示したもの
	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。</li> <li>(2) 国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分のよいところを見付けている。</li> <li>(3) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をよく活用した。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業時間以外の普段(月～金)1日当たりの勉強時間。</li> <li>(2) 土曜日や日曜日など学校が休みの日の勉強時間。</li> <li>(3) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。</li> <li>(4) 授業時間以外の普段(月～金)1日当たりの読書時間。</li> <li>(5) 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表できる。</li> </ol>

国語	<p>「話すこと・聞くこと」の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ &lt;話し合いで、発言の意図を聞き取ること&gt;</li> <li>・ &lt;互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること&gt;</li> </ul> <p>「書くこと」の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ &lt;目的に応じて工夫して書くこと&gt;</li> </ul> <p>について重点的に取り組む必要がある。</p>
算数	<p>「数と計算」の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ &lt;四則混合の式&gt; &lt;四捨五入&gt;</li> </ul> <p>「図形」の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ &lt;面積の単位換算&gt;</li> </ul> <p>「データの活用」の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ &lt;表の変化の読み取り&gt; &lt;関係を式に表す&gt;</li> </ul> <p>について重点的に取り組む必要がある。</p>